

株主の皆様へ

証券コード 7883

株主通信

第73期【中間期】

平成29年4月1日～平成29年9月30日



サンメッセ株式会社



代表取締役社長

田中 義一

新たなことへ挑戦を さらなる企業価値の

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第73期上半期の業績につきましては、売上高71億5百万円(前年同期比3.5%減)。営業損失1億30百万円(前年同期は営業利益46百万円)、経常損失60百万円(前年同期は経常利益98百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失75百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益46百万円)と前年同期比で減収減益となりました。

ペーパーレス化に伴う市場全体の需要減少に加え、受注競争の激化による販売価格の低下など、厳しい経営環境が続いており、当中間期においては大変残念な結果となりました。印刷業界は下半期に

売上高	71億 5百万円
営業利益	▲1億30百万円
経常利益	▲60百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲75百万円

続けることで 向上に努めてまいります

業績を押し上げる傾向にあります。売上はもとより、特に利益改善に取り組み、期末における黒字化に社員一丸となって鋭意努力してまいります。

課題を「見える化」することで、 効果的な業務改善を進めてまいります

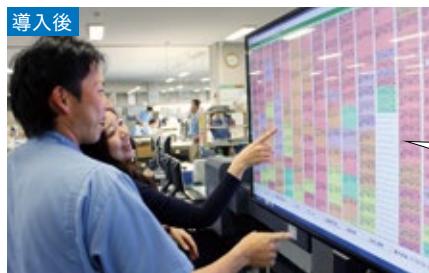
昨年度「見える化」を全社的なテーマに掲げ、さまざまな問題の可視化、共有化に取り組んでまいりました。今年度は可視化された問題の解決に取り組み、会社、各部署、また社員一人ひとりが目標を達成し、結果を出していくことを推進しております。

会社として2つの重点課題を掲げて取り組んでおりますが、その一つが「SMiLEシステム*1」の運用です。テスト運用期間を経て、7月より本格運用がスタートいたしました。このシステムの稼働により、生産準備や見積時における業務のムリ、ムダの解消、さらにヒューマンエラーの低減につながっております。

導入目的は業務改善による利益創出です。本システムはあくまでもツールであり、結果を出すのは社員の知恵と行動と考えております。導入効果を最大化するためにも、継続的な改善PDCAサイクルを回していきたいと考えております。



これまでは紙の予定表で業務の進捗状況を確認していた



「SMiLEシステム」の導入によってリアルタイムに業務の進捗状況を専用モニターで確認することができる

もう一つの重点課題は、労務管理の見える化による「働き方改革」の推進です。これまでも勤怠管理システムにて、労働時間や有給休暇、振替休日取得などを管理してまいりましたが、「働き方改革」を目的とする体系的な取り組みとして、長時間労働の削減や有給取得率の向上などを推進。週一回のノー残業デー取行やインターバル規制^{※2}の導入、また社員教育も実施しております。「働き方改革」や「働く環境整備」を推進し、社員に愛される会社づくり、企業価値向上の実現に取り組んでおります。

※1 SMiLEシステム:業務系データを一元管理する当社の新たなMIS (Management Information System)。全社的な生産計画や工程毎の作業進捗、作業負荷をリアルタイムに把握でき、効率的な生産準備ができるようになります。また製品の販売価格と標準原価、実勢原価を把握することができ、工程毎の損益データも分析可能となります。購買部門の用紙情報とも連動しており、見積段階における適正価格の算出が可能となります

※2 インターバル規制:前日の業務終業時間から翌日の始業時間まで10時間以上の間隔を設けております

新たな成長戦略事業にチャレンジ。 積極的な事業の推進に努めております

成長戦略事業である「IPS事業^{※3}」について年々受注が伸びてきております。今後も需要拡大が見込まれることから、来年2月完成予定の本社第5工場増築エリアに最新設備を導入し、新たな生産ラインの増設を計画しております。

また「パッケージ事業^{※4}」の業績も順調に伸びてきております。当社では最新鋭の設備機器を導入し、オール内製化を実現しておりますが「IPS事業」同様、本社第5工場増築エリアに、クリーンルームをはじめとする新たな生産設備の導入を計画しております。さらに高品質、高付加価値な製品をご提供できる環境を整え、新規顧客開拓や売上、利益の向上に繋げてまいりたいと考えております。

「コーポレート・コミュニケーション事業^{※5}」におい



新はつらつ職場づくり
宣言事業場として
岐阜労働局に登録

事業の拡充に向け
本社第5工場を増築中。
完成予想図の左側が
増床フロア



ては、業務提携先とのシナジー効果が少しずつではありますが実績として表れてきております。さらに専門性を追求することで、当社ブランドの向上や拡販に努めたいと考えております。また「コーポレート・コミュニケーション事業」と「ICT事業^{※6}」を包括する新たな組織として、ソリューション戦略推進部を8月に新設いたしました。2つの戦略事業の融合を図る部門として、新たなソリューションの開発を進めてまいります。

今期、新たな成長戦略事業として「デジタル出版事業」をスタートいたしました。これまでも当社は、印刷データのデジタルメディアへの二次利用を推奨してまいりましたが、新たなニーズにお応えするべく多言語自動翻訳や音声自動読み上げなどのデジタル変換技術を活用した高付加価値なコンテンツ開発に注力してまいります。またデジタル出版事業の推進は「ICT事業」の伸張にも寄与する取り組みでもあります。

今年度も成長戦略事業を中心に当社の最新技術を直接ご紹介する特別展を開催させていただきました（詳細はP5-6ご参照）。今後も、当社の強みである“総合力”を生かした、新たなサービス、製品をご提供することで企業価値を高めていきたいと考えております。

皆様にとって“グッドカンパニー”であり続けることを これからも目指してまいります

これからもお客様に喜んでいただけるサービス、製品をご提供することで、事業会社として適正な売上、利益の確保に努め、ステークホルダーの皆様へ愛される“グッドカンパニー”であり続けられるよう、社員全員で取り組んでまいります。株主の皆様にはより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※3 IPS (Information Processing Service) 事業:企業の重要情報や個人情報など、一点一点内容を変えて印刷するサービス。セキュリティを万全にした専用エリアを設置し、ダイレクトメールから契約書類、金融書類、請求書類、給与明細など、高度で多彩な情報加工を実現しています

※4 パッケージ事業:パッケージに関する製造、加工はもちろんのこと、製品開発から設計、デザイン、プロモーションに至るワンストップパッケージングサービスをご提供しています

※5 コーポレート・コミュニケーション事業:ブランディング、PR設計、コンテンツ設計、ツール類の企画制作に至るまで、コーポレート・コミュニケーションに関する一連のサービスをワンストップでご提供しています

※6 ICT (Information and Communication Technology) 事業:Webを効果的・効率的に利用したマーケティング分析から、Webサイトや動画を中心とした幅広いデジタルコンテンツ制作まで、ICTビジネスをトータルに推進しています

サンメッセの最新技術が一堂に介した特別展を開催

平成29年9月14日・15日の2日間にわたり、当社の最新技術をお客様にご紹介する特別展を開催いたしました。今回のテーマは「CHANGE THE WORK」。お客様の業務改善をサポートする様々なソリューションを、当社の成長戦略事業を中心にご紹介いたしました。今後もお客様のニーズにフィットする当社の企画力、技術力をPRし、新規案件受注、売上向上につなげていきます。

DP 事業

[デジタル出版]

印刷物のデジタルメディア化をはじめ7カ国語対応の自動翻訳や音声読み上げ機能など、デジタル出版分野における様々なソリューションをご紹介しました。



マルチデバイスへの対応



管理機能つきポータルサイト



Webや動画、3DCGなどデジタルコンテンツの最新技術をご紹介。当社オリジナルARブラウザ「AR+ist(アーティスト)」を実際に体験いただくことでARの可能性をPRしました。



ICT 事業

インフォメーション
アンド
コミュニケーション
テクノロジー



IPS 事業

インフォメーション
プロセッシング
サービス

顧客情報を効果的に活用したターゲットプロモーションをご紹介しました。帳票類のユニバーサルデザイン化には、多くのお客様から反響をいただきました。

帳票のカラー化・
ユニバーサルデザイン化



2チャンネル
インサーターによる正確かつ
スピーディーな
封入封緘

CHANGE THE WORK

PK
事業

[パッケージ]

企画から設計、デザイン、パッケージング、プロモーションなど、多岐にわたる当社のパッケージに関するサービスをPRしました。



商品価値を高める
パッケージデザイン



ダミー製作用「サンプルカッター」

メイン会場図

PK
事業

BPO
事業



当社のソリューションに関する
プレゼンテーションも実施



お客様の業務改善のヒントとなる最新技術の活用法についてプレゼンテーションをいたしました。

CC
事業

[コーポレート
コミュニケーション]

IR・CSR分野をはじめ、「企業価値の向上」に寄与するソリューションやコミュニケーションツールの最新動向、制作サポートについてご紹介しました。



統合レポート、
IRツール



VOICE
お客様の声

AR技術やデジタル出版は、今後の事業に役立てたいコンテンツとして興味深いものでした。

印刷会社とは思えないほどのデジタルコンテンツの充実さに驚きました。

真面目なもののづくりをされていると感じました。



◎「新はつらつ職場づくり宣言」に登録



認定式にて、写真左より岐阜労働局長、総務部長、労働組合書記長

当社は今年度の会社方針の重点課題として「働き方改革」を掲げており、長時間労働の抑制、有給休暇取得率の向上、ハラスメントの防止対策、ストレスチェックの実施など全社的なワークライフバランスの向上に取り組んでおります。労使協調のもと「働き方改革」を推進するため、岐阜県労働局が推進する「新はつらつ職場づくり宣言」を平成29年6月実施いたしました。

この宣言は、労使ともに協力して健康・快適で仕事のしやすい職場づくりを目指していくために展開されている、全国的にも例が少ない岐阜労働局独自の取り組みです。

今後も宣言に掲げた「働き方改革」を推進、実行し、優秀な人材の確保と快適な職場づくりに努めてまいります。

◎「サンメッセ統合レポート2017」を発行

平成29年9月、当社の中長期的ビジョンをはじめ財務情報、ESG情報などを総合的に開示する「サンメッセ統合レポート2017」を発行いたしました。統合報告書として5度目の発行となる今回のレポートでは「多様な人財こそが当社の価値の源泉」をテーマに、当社社員にフォーカスした編集方針としました。

本レポートでは、具体的な成長戦略や今後重点的に取り組むべき課題、激変する印刷業界の中で持続的成長を続けるための当社の強みや存在意義についてご紹介させていただき、当社の現在と将来をステークホルダーの皆様にお伝えするレポートとなっております。



●当社Webサイトにてフルレポートを掲載するメディアミックスによる情報開示を展開しております。

<https://www.sunmesse.co.jp/report/>

◎「E! Talk's LIVE!! 2017」を開催

コーポレートコミュニケーション事業の拡販を目的に、企業のIR、CSR、経営企画、広報、総務等のご担当者を対象としたセミナー「E! Talk's LIVE!! 2017」を、業務提携先である株式会社ファイブ・シーズとの共催にて、平成29年10月24日(火)、ウイングあいち(名古屋市)で開催いたしました。

今回「選ばれる企業の『対話力』とは？」をテーマに4部構成で開催。第1部は、当社執行役員の田中康信が「What's ESG? -ESG投資時代のESG経営とは-」と題したテーマで、ESGに関する最新動向や企業の情報開示のあり方などを分かりやすく解説。第2部では株式会社ファイブ・シーズの越智社長より、最新のIR動向や投資家が望むIRコミュニケーションのポイントについて解説いただきました。また、当社ソリューション戦略推進部の林 英樹、西村尚悟より、制作事例のご紹介を通じて当社の企画・制作力をアピールいたしました。



今後も、お客様の事業活動に役立つイベントを企画、実施していくとともに、当社コーポレートコミュニケーション事業の拡販に努めてまいります。

◎ 女性のクリエイティブチーム「^{リンク}Link」新設



チーム一丸となって、お客様のあらゆるニーズにお応えします

平成29年8月、営業企画部の女性社員のみで構成するクリエイティブチーム「Link」を新設いたしました。

20代から40代の女性ディレクター・女性デザイナーが所属し、女性ならではの視点や感性、発想力を生かして、企画立案、デザイン、取材・編集などの制作サポートをトータル的に担当させていただいております。8月のチーム結成以来、すでに多くの企業様や自治体様のプロモーション案件に対して提案、参加しており、ご好評いただいております。

今後もお客様の想いに真摯に向き合い、より良いパートナーとして信頼していただけるよう注力してまいります。

業績のご報告 [連結]

財務ハイライト

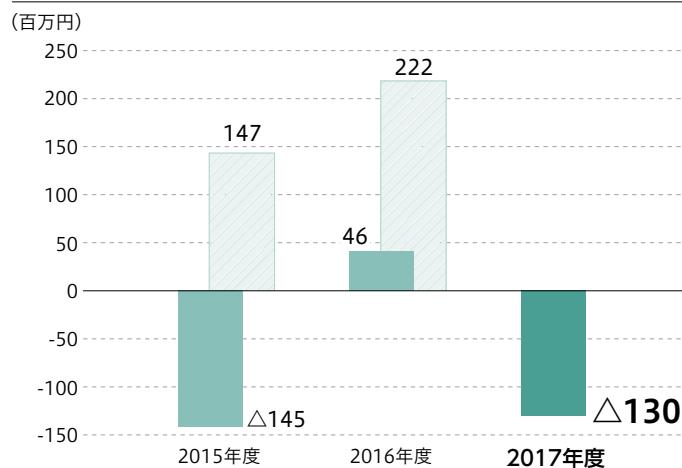
■ 上半期 ■ 通期

● 売上高



印刷事業においては、包装印刷物のパッケージや出版印刷物が増加しましたが、一般商業印刷物のカタログや折込チラシ等の減少により減収となりました。また、イベント事業においても、官公庁等からのイベントの減少により減収となりました。

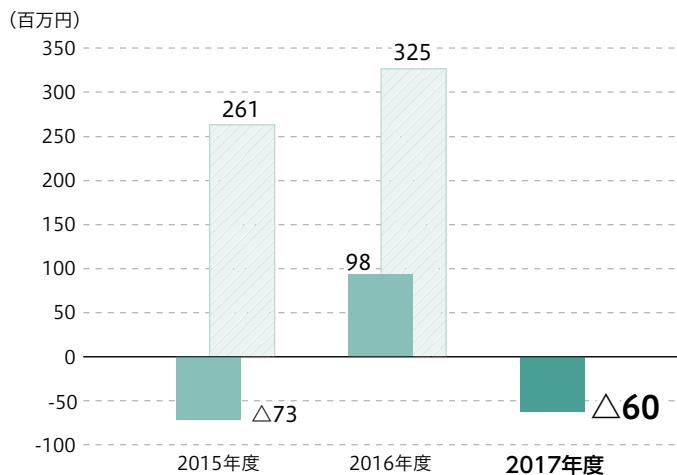
● 営業利益(損失)



売上高の減少により売上総利益が減少したため損失となりました。

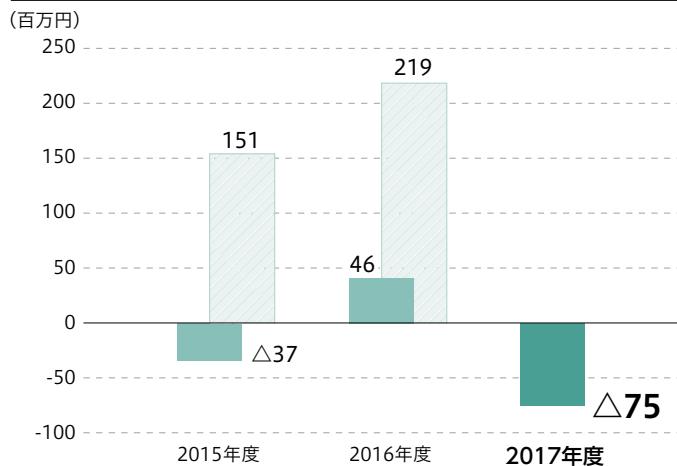
※2016年度より、従来、営業外収益に計上していた作業くず売却益を、製造原価より控除する方法に変更しております。そのため、2015年度の営業利益について遡及修正後の数値を記載しております。

● 経常利益(損失)



営業外収益は増加しましたが、売上総利益が減益となったため損失となりました。

● 親会社株主に帰属する当期純利益(損失)

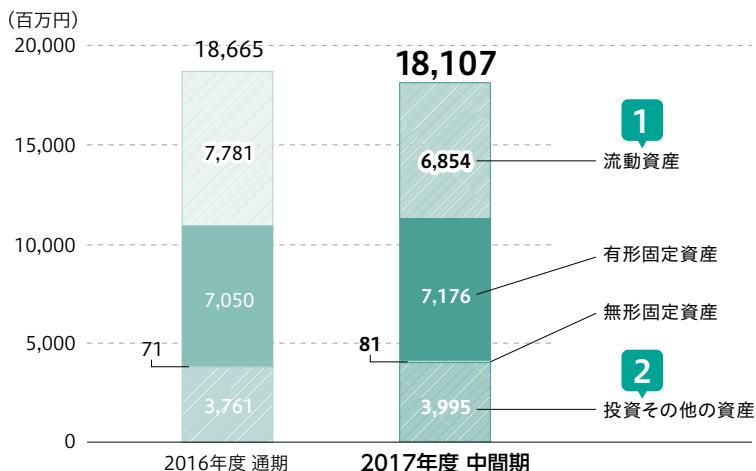


法人税等が減少しましたが、売上総利益が減益となったため損失となりました。

連結財務諸表

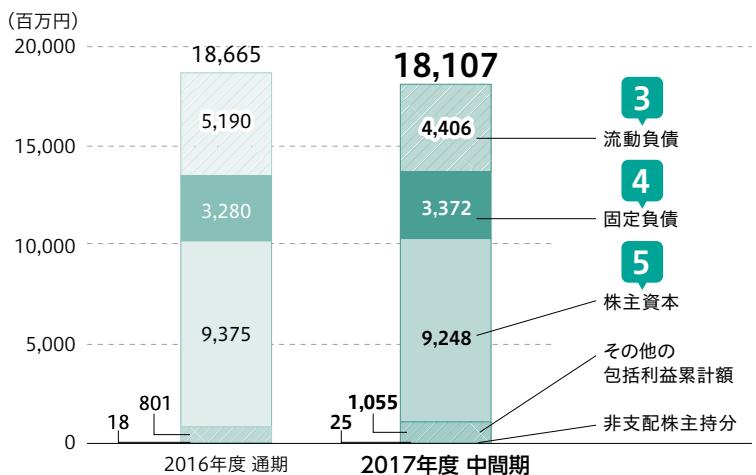
連結貸借対照表 2016年度:3月31日現在, 2017年度:9月30日現在

●資産の部



- 1 流動資産**
受取手形及び売掛金が減少したことなどにより減少しました。
- 2 投資その他の資産**
投資有価証券が増加したことなどにより増加しました。

●負債・純資産の部

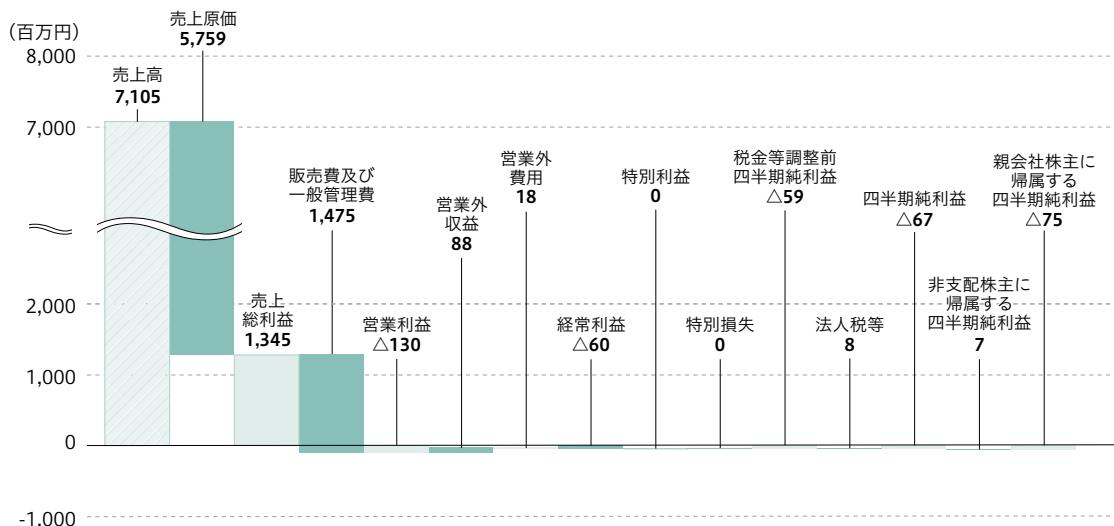


- 3 流動負債**
支払手形及び買掛金や短期借入金が減少したことなどにより減少しました。
- 4 固定負債**
社債や退職給付に係る負債が増加したことなどにより増加しました。
- 5 株主資本**
利益剰余金の減少により減少しました。

※株主資本、その他の包括利益累計額、非支配株主持分を合わせて純資産となります。

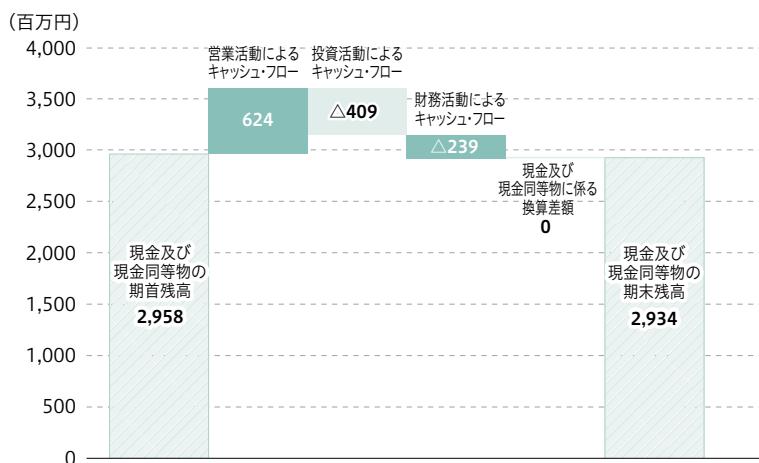
四半期連結損益計算書

2017年4月1日～2017年9月30日



四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2017年4月1日～2017年9月30日



中間配当について

平成29年11月2日開催の取締役会において、平成29年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主又は登録株式質権者に対して行う中間配当金の支払いにつき、次のとおり決議いたしました。

中間配当金 1株につき3円

効力発生日並びに支払開始日
平成29年12月11日

株式の情報

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数

60,000,000株

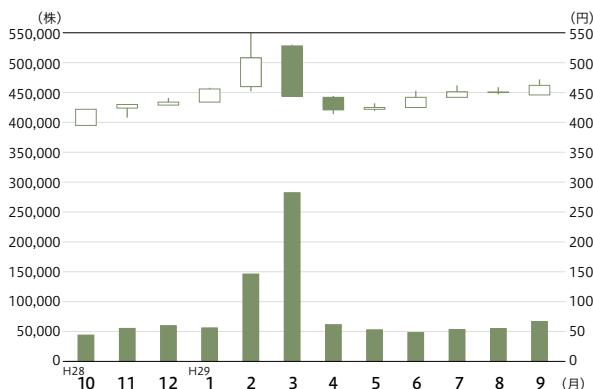
発行済株式の総数

17,825,050株

株主数

7,531名

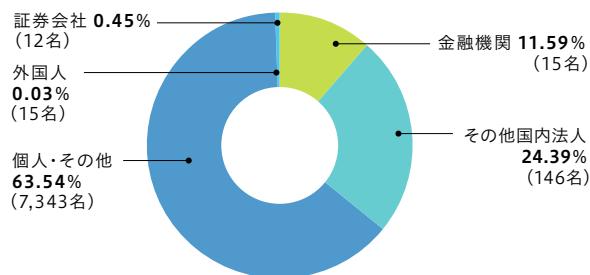
株価推移



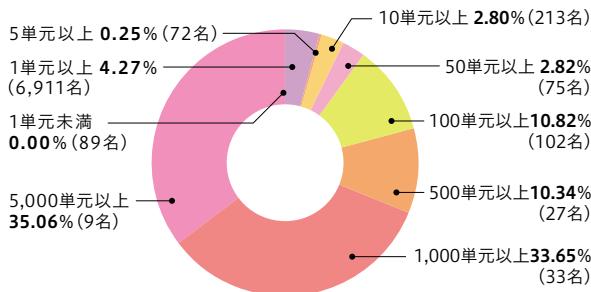
株式分布状況

(注)比率は小数点以下第三位を四捨五入しております

所有者別株式分布状況 (株式数比率)

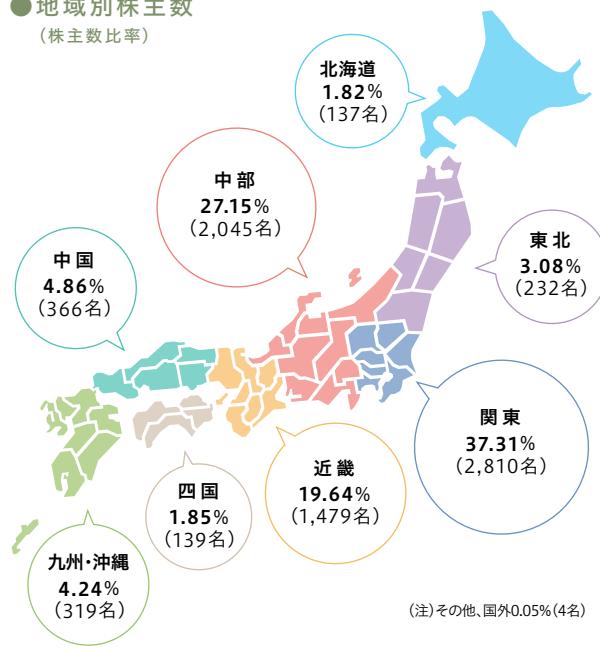


所有数別株式分布状況 (株式数比率)



地域別株主数

(株主数比率)



会社の概況

会社概要 (平成29年9月30日現在)

商号 サンメッセ株式会社
設立 昭和21年9月20日
資本金 1,236,114千円
従業員数 722名(連結738名) ※嘱託、パートは含まれておりません。

●主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。
企画、デザイン、製版、印刷、製本、製袋等に至る設備を有し一貫生産。チラシ制作支援等のシステム開発、セキュリティ、衛生管理を徹底したサービスを実施。印字、封入、封函を行うDPS(デジタルプリントサービス)やPOD(プリントオンデマンド)を強化。WebサイトやDVDなどのコンテンツ制作等の企画開発。

●本社および事業所 (平成29年9月30日現在)

本社 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支店 東京支店(東京都江東区) 大阪支店(大阪市中央区)
名古屋支店(名古屋市中区) 愛岐支店(愛知県一宮市)
岐阜支店(岐阜県岐阜市)
営業所 三重営業所(三重県四日市市) 滋賀営業所(滋賀県彦根市)
京都営業所(京都市下京区) 岡崎営業所(愛知県岡崎市)
工場 本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
関係会社 日本イベント企画株式会社(岐阜県大垣市)
サンメッセタイランド株式会社(タイ王国バンコク市)

●役員 (平成29年9月30日現在)

取締役 会長	※ 田 中 良 幸
取締役 副会長	※ 田 中 勝 英
取締役 社長	※ 田 中 義 一
取締役	田 中 尚 一 郎
取締役	水 谷 和 則
取締役	今 井 稔 寛
取締役	伊 東 芳 啓
取締役	長 井 勝 路
取締役	竹 林 啓 路
取締役	橋 本 勝 之 司
取締役	千 代 耕 司
取締役	衣 斐 輝 臣
取締役	由 良 直 之
取締役(監査等委員)	松 井 英 機
取締役(監査等委員)	長 屋 英 夫
取締役(監査等委員)	石 岡 秀 夫

(注)

※は、代表取締役であります。

松井英機氏は、常勤の監査等委員であります。

長屋英機および石岡秀夫の両氏は、社外取締役であります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
定時株主総会基準日 毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日 毎年3月31日
中間配当基準日 毎年9月30日
公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
*公告掲載のホームページアドレス <http://www.sunmesse.co.jp/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本店で行っております。

中間配当決議通知はがきの郵送廃止のお知らせ

中間配当に関するご案内につきましては、これまで「中間配当に関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りしてまいりましたが、今後は同はがきの郵送を廃止させていただくことにいたしました。今後は、当社ホームページにてご案内させていただきます。

[お知らせ]

■株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について
株式に関するお手続(住所、姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取請求など)のご照会及びお届出につきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■配当金のお受け取り方法について

配当金領収証による受領方式及び配当金振込口座指定方式に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で保有しているすべての銘柄の配当金のお受け取りや証券会社の口座でもお受け取りができます。お手続きにつきましては、取引証券会社にお問い合わせ下さい。

なお、証券会社で口座を開設されていない株主様は、左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

■未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行にお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
IR情報(投資家様向け情報)やCSR等の取り組みを詳細に紹介した統合レポート(Web版)にも、
ダイレクトにアクセスいただけますので、どうぞご利用下さい。

IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/>

統合レポートサイト

<http://www.sunmesse.co.jp/report/>



株主優待について

毎年3月末日現在の当社株主名簿に、記載または記録された100株以上保有の株主様を対象に、年1回一律1,000円分のクオカードを贈呈しています。

当社オリジナル
クオカード



※写真はイメージです。



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



19000127



印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます PS17-0030



環境にやさしい氷なし平版印刷を採用しています。



FSC
ミックス
紙
FSC® C014669



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



この印刷物を作成する際に排出されたCO₂ 1,700kg(1部当たり212.5g)は、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通じて、環境省で認証されたオフセット・クレジット(J-VER)(宮城県産)によりカーボンオフセットしています。この印刷物を通じ、地球温暖化防止へ貢献するとともに、東日本大震災の被災地復興ならびに森林保護にも協力しています。



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社